

学校だより  
「まんだ」  
No.13

# 自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

## 師走になって振り返る

2025年のカレンダーも最後の一枚になってしまいました。そして、先月（11月）は学校だよりを1枚も発行していないことに気づきました。万田小でもインフルエンザが流行し、恥ずかしながら私もあり患ってしまったことで、学校の様子をお伝えすることができませんでした。

そこで、今回は11月を中心に、学校の様子を振り返ってお伝えします。

まずは、各学年の見学旅行。そして5年生の水俣現地学習と6年生の修学旅行。・・・ところが、今年はどういうわけか、各学年の見学旅行はもちろん、5年生の集団宿泊教室（10/16・17）も、水俣の現地学習（11/14）も、6年生の修学旅行（11/11・12）も、三角西港で行われた三角小との交流学习（11/27）も、ことごとく、私はほかの出張等と重なり行くことができませんでした。

引率・同行した教頭先生や教務主任の赤星先生からは、5年生も6年生もとても立派な態度だったと聞きました。修学旅行先の長崎で行った平和集会は、平和祈念館の中で行ったために、とても厳かな集会になったとのこと。また、三角小との交流の様子は、テレビで放送されたり新聞で紹介されたりするなど、取組の素晴らしさが伝わってきます。つくづく、行ってみたかったなあと思います。

そのかわり私は、市民文化祭（11/2）に出場した3年生の「海達公子の学習発表」や万田中央地区のふれあい秋祭り（11/9）、万田小で行われた荒尾市総合防災訓練（11/16）に参加し、万田小が地域に支えられているんだということを実感しました。これからも、万田小をよろしく願います。



5年生が、水俣肥後っ子教室で現地学習を行い、水俣病や環境保全について学びました。



三角小の6年生から、三角西港についてガイドを受けました。



6年生が、長崎の地で自分たちが作成した「万田坑新聞」を手渡し、荒尾市をPRしました。



原爆の恐ろしさについて、原爆資料館で学び、ガイドの人に教わり、平和への思いを新たにしました。

